



▼ 夏の終わり

いよいよシーズンも後半戦。夏の間、酒に浸かった身体の浄化への3連戦へ突入、まずは

9月15日花びしカップ

10月13日にカリフォルニアカップ

27日に納会レース

しかし、当協会の皆さんにおいては、ここぞとばかりにさらに酒を煽ることになるのは例年のこと。今更身体を鍛える人など微塵も居ない、そもそも酒を浄化するなどと考えることすらあり得ない。

キンキンに冷えたビールの旨い時期も終わったが熱爛にはまだ早すぎる、こんな時期皆さんは何を召されておられるのでしょうか？焼酎ロック？ワイン？ウィスキー水割り？肴の種類にもよりますがおいしいお酒がいつまでも飲めるようたまには酒の浄化も必要では？

さてこの3戦を終えるとまた長〜いシーズンオフ、筆者としては記事探しに頭を抱える時期が……。一雨ごとに暑さが消え秋を一瞬で飛び越え冬へまっしぐら、もっと遊んでおけば良かったと思うのは私だけでしょうか？

▼ 波乱のダブルハンド

今月1日に小雨の降る中ダブルハンドレースが決行されました。

前日の8月31日は終日雨が降る中、亀谷実行委員長の一声で7艇が集結。

9月1日午前7時昨夜の残りか？まだ雨がパラついた中ポンツーンへと車を走らせる。各艇もメンバーがそろい午前9時過ぎレース海面へ向かう。本部艇が居ないため各艇電波時計の午前10時30分に入舟沖をスタートさせ一路セメント工場沖の赤浮標へ向け疾走、船団が徐々に開き始める、赤浮標を時計回り続く黄浮標を見つけられず先行艇を追い続ける中先行2艇がタック、その先を見ると100~150m先に黄浮標がポツンと、しばらくして下にいた速鳥がタックすかさずKINAMBOもタック付かず離れずのまま、さらに赤・黄浮標を回りトップで最終レグに入ったのはD-brosとマイウェイその時マイウェイのジブが破損急激に速度を落とす、その後最終レグに入ったのは速鳥・KINAMBO・カナイII・ダーマ・ココリスの順、レースも終盤に入った頃から10mを超す風と小雨に悩まされたが1時間40分の攻防が終わり全艇フィニッシュ。

レース終了後例によって例のようにクラブハウスで昼食を頂き表彰、カナイIIがD-brosを僅か9秒差で抑え優勝したが天気が悪いせいか佐藤氏はビールが進まなかったようだ……。

沖縄から函館へ ヨット<マイウェイ>の航海

Vol 9

7月11日(月) 晴れ

佐渡小木港→佐渡市両津港

6:00 出港。はじめ北東の風、風力3~4。フルセールで快走するが、その後次第に風が落ち、機帆走に。逆潮のせいかエンジン1800回転でも5ノットしか出ないが、両津湾手前からは6~6.3ノットに上がる。今日は昨日にも増して暑い。体中汗でド

ロドロである。14:20 編みがさをかぶった「おけさ灯台」を右に見て入港。フェリーターミナルと中央埠頭の間の岸壁に槍着けでもやう。風呂をさがすが近くにはなし。ちょっと離れた温泉まで行こうとしたがバスは出たばかり。今日はソーラーシャワーで我慢か。少々機嫌が悪くなり由美子に当たってしまう。夜、以前訪れた居酒屋「天国」(てんごくではなくてんくにと読む)で食事。店のご主人は私達のことを覚えていてくれた。

7月12日(火) 晴れ 両津港→栗島港

なじみのある海域になってきた。気持ちの面でもかなりリラックスできる。前回は2004年夏、工藤勝氏と3人で訪れた。ヨットに乗ってこれほど遠くまで来たのは初めてだったので、両津入港の時にはずいぶん興奮した。今思えば恥ずかしいくらいオロオロしたりドタバタしたりしたのだ。6:00 出港。予想に反し東の風が6メートル吹いている。こりゃあいい具合だと走っていたが、やはりだまし風だった。8時頃には弱まり機帆走に切り替える。それでも潮にのっているせいか艇速は7ノット以上だ。栗島に近づくと風向が北にシフトし風力3に上がる。時折ブロー。14:15 入港。今日も汗だらけだが目の前に温泉があるのが楽しみだ。しかーし、駐車場を見ると車の数がやけに少ない。悪い予感がする。偵察に行く。ガーン！休みである。この時期2回しかないという休業日に当たってしまった。二人ともガックリだ。今夜もまたコックピットでぬるいシャワーを浴びる。

7月13日(水) 曇り 栗島港→山形県酒田港

5:00起床。6:00出港。帆走、機走、機帆走取り混ぜて航行する。はじめSEのちNW。NW。13:00酒田港に到着する。阿倍氏が出迎えてくれる。彼と会うのは2005年以来6年ぶりの再会である。彼の艇<キャプテン・パパ>の隣の定置アンカーを借用し槍着け。いつもながら居心地のいいヨット溜まりである。軽トラを借り、風呂屋とスーパーへ。台風6号の進路が気になる。

7月14日(木) 曇り時々晴れ 酒田港

阿倍氏からお酒、氷、クサヤの差し入れ。それに素晴らしい色つやのサクランボ。味はと言えば、今まで食べた中で最高。思わずうなってしまう。滝野氏から台風情報が届く。このままでは日本海に入る可能性が高いとのこと。さてどこで避けたらよいのか。阿倍氏はシングルで北を目指して出港していった。

7月15日(金) 曇り

酒田港→秋田県 金浦(このうら)港

台風6号の進路が気がかりなので金浦、戸賀、深浦、函館と急ぎ、台風は函館でしのごうと思う。台風の進み方が速い時は秋田マリーナに逃げる。そう考え、本日昼頃出港し金浦港を目指すことにする。滝野、小鳥、榎、各氏に電話でスケジュールを連絡。いよいよフィニッシュが近くなってきた。12:00出港。今日も風が弱い。機走、機帆走を繰り返し6~7ノット。久々に